

報告事項カ

鳥取県幼児教育フォーラムの開催結果について

鳥取県幼児教育フォーラムの開催結果について、別紙のとおり報告します。

令和元年12月20日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

鳥取県幼児教育フォーラムの開催結果について

令和元年12月20日

小中学校課 幼児教育担当
(鳥取県幼児教育センター)

鳥取県幼児教育フォーラムの開催の概要は以下のとおりです。

1 日時

令和元年12月1日(日)

午前10時から午後4時30分まで

2 会場

倉吉未来中心 大ホール

3 参加者

当日参加者数 583名

・幼児教育・保育施設保育者等

525名

・小学校・特別支援学校教職員

15名

・行政担当者(教育委員会・保育担当課)

29名

・家庭教育支援・PTA関係者、一般14名

4 概要

(1) 説明 「鳥取県幼児教育振興プログラム(第2次改訂版)」について

・「鳥取県教育振興基本計画」とのつながり、並びに前回改訂から変更・追記した点について説明

(2) 講演 「鳥取県のめざす幼児の姿『遊びきる子ども』について」

鳥取大学教授 塩野谷 斉 氏

・「遊びきる」ことの重要性と遊びの中で非認知的能力や言葉を育てることの関連について、具体例を交えながらの講演

(3) 記念講演「一人ひとりがみんなたいせつ ～子どもの心に寄り添う大人のあり方～」

児童文学作家 くすのき しげのり 氏

・自身の絵本の読み聞かせをしながら、作品に込めた思いや子どもの「自己肯定感」を育てるための大人の関わり方について講演

(4) 講演 「未来を創る子どもの心を育む ～保育者の専門性、保護者・地域の役割～」

島根大学副学長 肥後 功一 氏

・乳幼児期に育てたい「対話」の力と小学校以降の対話的な学びとの関連、「自己肯定感」や主体性を育む保育者の専門性について講演

(5) シンポジウム

『遊びきる子ども』をめざして ～遊びを通した育ちと学びを未来へつなぐ～

シンポジスト: 鳥取大学 教授 塩野谷 斉 氏

名古屋学芸大学 教授 津金美智子 氏

鳥取大学附属幼稚園 副園長 大高美穂子 氏

北栄町立北条小学校 校長 岡本 雅子 氏

コーディネーター: 鳥取県教育委員会 教育次長 足羽 英樹

・4つの協議の視点に沿ってそれぞれのシンポジストが意見を述べ、討論

○鳥取県のめざす幼児の姿「遊びきる子ども」について ○幼保小の連携・接続について

○ふるさとの自然を生かした幼児教育について

○これからの幼児教育に期待すること

5 参加者の感想

- ・幼児期にしっかり遊びきることが学びにつながり、学びに向かう土台ができ、将来へとつながっていく。様々な人や物と直に触れる感情体験ができるよう保育をしていくことの必要性を感じた。
- ・子どもを取り巻く厳しい現実の話も交えながらの絵本の読み聞かせに涙が出た。想像する力、共感する力の大切さを改めて感じ、大人として、子どもの心の深いところ、見えないところに思いを重ね、ぬくもりを持てる自分でありたいと思った。
- ・日々の保育の中で、環境の工夫を考え、取り組んでいるが、指示的な環境になっていないか、考えさせられた。「環境構成を引き算で考えることも大切」という言葉が印象的であり今後考えていきたい。
- ・シンポジウムでは、それぞれの立場から、遊びきること、保幼小連携の大切さなど4つの柱で進められ、興味深く、様々な意見や取組が参考となった。
- ・人的環境である保育者としての自覚をもち、遊びの中の学びを見取り、伝える専門性を高めたい。



～くすのきしげのり氏による記念講演～



～教育長室前の図書コーナー～

